

# 会員発エコ商品情報

## 「地産地消の温室効果ガス排出権付 水なし印刷 GREEN eye(グリーンアイ)」

AINZ株式会社

印刷工程で排出する“CO<sub>2</sub>”をカーボンオフセット出来る仕組み「温室効果ガス排出権付水なし印刷」グリーンアイに新しく滋賀県内での排出権をご利用いただけるようになりました。印刷用紙を作る工程から、印刷、そして、使用後の廃棄まで。印刷にかかるCO<sub>2</sub>排出量を全ての工程で数値化。そのCO<sub>2</sub>排出量を、滋賀県内の排出削減事業者様の排出権を活用させていただくことで排出権の「地産地消」が実現いたしました。

滋賀の企業が滋賀の企業の排出権でカーボンオフセットしてみませんか?



(お問い合わせ) AINZ株式会社

〒520-0047 滋賀県大津市浜大津2丁目1-35  
OSD浜大津ビル7階  
TEL: 077-525-6688 FAX: 077-528-2530  
E-mail: zaki@shiga-web.or.jp

## ~伝統と環境をノートに~ 「麻とヨシのノート」

株式会社コクヨ工業滋賀

美しい和の彩りの近江の麻布5色を表紙に、中紙にはびわ湖・淀川水系のヨシを使用しています。「さざなみ」「芽吹き」「花笑み」の3色は、ゆるく波打った7.5mmの横罫線で日記などとておきの記録におすすめのノートです。「かすみ」「木もれ陽」の2色は無地の中紙で、罫線にとらわれることなく自由に図や絵をかくのに便利です。滋賀県内の主要文具店はじめ観光地のお土産売り場、下記通販サイト等で好評販売中です。



(お問い合わせ) 株式会社コクヨ工業滋賀

〒529-1203 滋賀県愛知郡愛荘町上蚊野312  
TEL: 0749-37-3611 FAX: 0749-37-3686  
E-mail: sales\_kps@kokuyo.com  
URL: https://www.kokuyo-shiga.co.jp/

次回掲載情報  
(商品・サービス)  
募集中!



編集・発行／一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階 TEL: 077-510-3585 FAX: 077-510-3586  
Eメール: sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL: http://www.shigagpn.gr.jp/



滋賀

# GPN



News

第26号 2014年8月  
滋賀グリーン購入ネットワーク  
ニュース



環境への負荷が小さい商品・サービスの優先的購入を進める地域ネットワーク

Report 1

## 「GPプラン滋賀」

### 2014年度 支援プログラムスタート

- ・基礎研修会
- ・登録証交付式
- ・実践講座【前期1】

- ◆開催日: 2014年4月17日(木)
- ◆会 場: コラボしが21 3階 研修室



今年度のGPプラン滋賀登録制度にグリーン購入に取り組む185団体が登録され、4月17日に登録証交付式を行いました。

登録前に受講が必修となっている「基礎研修会」では、新規登録者の方々を中心にグリーン購入の基礎を研修いただき、グループに分かれてワークショップで意見交換も行いました。

実践講座【前期1】では京都大学 名誉教授の内藤正明先生を講師にお迎えし、「私たちは環境問題を克服できるだろうか」と題し、内藤先生の厳しいご意見を織り交ぜながら、ご講演いただきました。受講された方のアンケートには、「先生の本音が聞けた」「未来に残したいものを考えさせられた」「環境問題の危機を聞けた」「今までの考え方を変えなくてはいけない」などの声が寄せられました。

講演後引き続き、滋賀県立大学 環境科学部 准教授 高橋卓也先生をコーディネーターにお迎えし、フロアトークを行いました。講演の内容をさらに掘り下げ、登録者のみなさまに、より一層、理解を深めていただくことができました。

今後も、充実した講座を開催いたします。是非、ご登録いただき、ご参加ください。

## GPプラン滋賀

(グリーン購入実践プラン滋賀登録制度)

「グリーン購入の実践方法がよくわからない」  
「グリーン購入に取り組んでいることをアピールしたい」

そんな事業者様はぜひご登録ください!

GPプラン滋賀は「支援プログラム」等を通して、登録者の組織的なグリーン購入実践を支援する滋賀県の登録制度です。登録者は県と滋賀GPNホームページで公表します。

**【登録対象者】滋賀県内に事業所を有する中小企業者等  
【登録料】無料**

※登録前に、滋賀GPNが実施する「グリーン購入基礎研修会」を受講してください。

**【登録の種類】「STEP1」「STEP2」の2つのステップに、それぞれ以下の2種類のコースがあります。登録初年度は「STEP1」に登録されます。コースはいずれかお選びください。**

**Aコース(支援プログラム参加登録コース)****Bコース(滋賀GPN会員登録コース)**

※詳細はホームページをご覧ください。http://www.shigagpn.gr.jp/gpp/

## INDEX

● Report1 「GPプラン滋賀」	1
● Report2 第2回定時会員総会	2
● Report3 事業所見学会	3
● 「新活動ビジョン」決定!	4-5
● エコ情報室	6
● 滋賀GPN会員でつなぐリレートーク	
● 近江鉄道㈱	7
● 新規会員からひとこと	7
● 会員発エコ商品情報	8
● 編集後記	8



Report 2

## 第2回定期会員総会 ～新活動ビジョンについて報告～

●開催日：2014年5月27日(火) ●会場：コラボしが21(大津市)

法人化後第2回目となる定期会員総会を開催し、132名の会員の皆様にご出席いただきました。当日は事例報告会、会員情報交換会、会員交流会を総会に引き続き開催しました。

総会では、2013年度事業決算報告、新理事の選任について承認された後、幅広い環境負荷低減行動の推進として新たな活動ビジョンが決定したことを報告しました。

続いて行われた事例報告会では、日本ガラストロニクス(株)の桂賢会長をお迎えし『中小企業連携で進める生物多様性保全の取組について』と題して、平成25年度「しが生物多様性大賞」を受賞された、湖南企業いきもの応援団の活動事例についてお話しいただきました。終了後のアンケートでは「優れた事例について理解が得られた」「将来の地域の為に、考え方や取組が礎となることに期待したい」などの感想が寄せられています。

また、会員情報交換会では、新活動ビジョンの中目標のうち3つのテーマ（A.事業者の環境水準を高める B.会員の想いと活動をつなげる C.環境に配慮した暮らしを広める）に分かれてグループ・ディスカッションを行いました。各グループとも活発な意見交換が行われ、終了後は一斉に名刺交換が行われた様子が印象的でした。

夕方からは会費制で「会員交流会」を開催し、54名が参加してさらに交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。



新規入会会員の皆さんに、自己紹介とひとことPRをお願いしました。

### 参加会員の声

- 他業種のお話が伺えておもしろかったです。
- 新規入会会員さん達の力強い決意の言葉を聞き、大変なもしい事だと思いました。
- 「滋賀から『グリーン経済』をつくる」の大目標のもと、事業者の環境活動を支援する活動の発展に期待している。
- 環境はこれからの企業活動のテーマだと再確認しました。



事例報告会では、日本ガラストロニクス(株)の桂賢会長に、お話しいただきました。



会員情報交換会の様子  
(A.事業者の環境水準を高める)



活発な意見交換が行われました。  
(C.環境に配慮した暮らしを広める)



各グループから意見発表をしていただきました。  
(B.会員の想いと活動をつなげる)



会員交流会の様子

Report 3

## 事業所見学会

～3Rの先進事例を学んだ見学会～

●開催日：2014年6月19日(木)

●参加者：34名

### プログラム

①UCC上島珈琲株滋賀工場 見学・説明会

②日本電気硝子株能登川事業場 見学・説明会

今年度は、工場内各工程における省エネの取組や原材料のコーヒーカス再資源化の取組等を進めておられるUCC上島珈琲株滋賀工場様と、埋め立て廃棄物0を目指した再資源化や自然との共生を図る取組等を進めておられる日本電気硝子株能登川事業場様を見学させていただきました。

UCC上島珈琲株滋賀工場様では、マルチビジョンでの農園紹介、製造ラインや検査工程を見学しました。環境に配慮されているペットボトルの元となるプリフォームやラベルを手にしたり、コーヒーの比較試飲を体験することができました。日本電気硝子株能登川事業場様では、薄い板ガラスの製造過程や溶鉱炉の中を見せていただきました。同事業場は事業活動に必要な場所以外は、すべて元来の自然を残すという考えのもとで作られており、潜在自然植生により自然林同様の環境を保つことで、生物多様性の保全に取り組まれていました。

この事業所見学会は、毎回参加いただいている会員さんも多くおられます。会員同士の交流もあり、異業種同士新たなつながりを持つことができます。まだ参加されたことない会員さんも次回は是非参加をお待ちしております。



日本電気硝子 能登川事業場 見学の様子



UCC上島珈琲 滋賀工場 見学会の様子

### 参加会員の声



株山久 野瀬 佑介さん

日本電気硝子様、UCC様の素晴らしいおもてなしにより充実した見学会でした。環境を真剣に考えている企業の製品を購入することが、環境保護に繋がると実感しました。各企業によって様々な環境対策をされていると思うので、今後も参加して勉強したいです。



夏原工業(株) 杉本 韶子さん

UCC様では美味しい珈琲をいただきながら見学し、日本電気硝子様では今まで見たことのなかったガラスの製造工程の一部を見せて頂きました。工場は環境に対する負荷が大きいというイメージがありましたが、2工場での徹底した環境に対する取り組みに驚かされました。



## 一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク 「新活動ビジョン」決定!

滋賀GPNでは2013年4月の法人化の際に活動内容を見直し、今後は、グリーン購入に留まらない幅広い環境負荷低減行動を推進していくことといたしました。これに伴い企画部会を中心に新たな活動ビジョンの策定を進めてまいりましたが、この度まとめましたのでお知らせします。

活動の大目標は「滋賀から『グリーン経済』をつくる」としました。『グリーン経済』とは、様々な環境問題を解決方向に導き、私たちの生活の質の向上にもつながる、「三方よし+孫子よし」の持続可能な

経済社会のことを指しています。この大目標の下に4つの中目標(A~D)を定め、それらを具体的な事業目標に落とし込みました。5つの部会が3年後の成果目標達成に向けて、各事業を進めていきます。

**【大目標】**  
滋賀GPNの基本姿勢を大目標に記しました。

### (一社)滋賀グリーン購入ネットワーク 活動ビジョン

#### A 事業者の環境行動の水準をたかめる



フォーラム、セミナー、事業所見学会の開催、「GPプラン滋賀」の運営等を通して、事業者の実践を促進します。

#### B 会員の想いと活動をつなげる



情報交換会や交流会の開催、ビジネスメッセ出展等を行います。また、会員の研究会活動等を支援します。

#### C 環境に配慮した暮らしをひろめる



キャンペーン活動や出前講座の実施、「三方よしエコフェア」の開催等を通して、消費者への普及啓発を行います。

活動期間:2014年4月から2017年3月まで  
初年度:2014年4月から2015年3月  
第2年度:2015年4月から2016年3月  
最終年度:2016年4月から2017年3月

A.事業者の環境行動の水準を高める	B.会員の想いと活動をつなげる	C.環境に配慮した暮らしを広める	D.未来に向けて活動を深める
-------------------	-----------------	------------------	----------------

#### (A・C) 自治体部会の活動



年2回の連絡会議で情報交換を行うと共に、県内全自治体連携の「びわ湖一周買うならエコリレー」等を通して、地元住民への啓発活動を実施します。

#### D 未来に向けて活動をふかめる



活動成果の確認、活動評価の手法の検討、社会への提案研究を行います。

それから…

**みんなで!  
かまえないで!  
楽しく!**

この3原則もこれまで通り大切にしていきます。

**【事業目標】**  
中目標を達成するためには必要な個別事業の目標を整理したもので、各事業は、中目標の下に記載した部会が企画・運営を担当します。

**【成果目標】**  
3年を1スパンと考え、成果目標を設定し、自己評価を行っていきます。

大目標		滋賀から「グリーン経済」をつくる			
		A 事業者の環境行動の水準を高める	B 会員の想いと活動をつなげる	C 環境に配慮した暮らしを広める	D 未来に向けて活動を深める
中目標 (担当部会)	定款の事業項目	<b>A 事業者の環境行動の水準を高める</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入に取り組む事業者を増やす</li> <li>・環境に配慮した商品・サービスの提供者を増やす</li> <li>・事業者の環境活動を支援する</li> </ul> (事業者実践部会・自治体部会担当)	<b>B 会員の想いと活動をつなげる</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の活動への参加を促す</li> <li>・会員の交流の場を提供する</li> <li>・会員相互の連携を促す</li> </ul> (会員活動部会担当)	<b>C 環境に配慮した暮らしを広める</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者にグリーン購入の意義を広める</li> <li>・グリーン購入に取り組む消費者を増やす</li> <li>・会員事業所の従業員にグリーン購入を普及させる</li> </ul> (暮らし方普及部会・自治体部会担当)	<b>D 未来に向けて活動を深める</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入推進への政策提言を行う</li> <li>・全国・他地域GPNとの連携を深める</li> <li>・目標実現のために組織運営を強化する</li> </ul> (企画部会担当)
事業目標	(1)実践促進および普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入フォーラム 年1回開催</li> <li>・事業所見学会 年1回開催</li> <li>・グリーン購入キャンペーン 10月実施</li> <li>・会員講師によるミニセミナー開催</li> <li>・自治体GP連絡会議 年2回開催</li> <li>・入会案内パンフレット作成</li> <li>・GPプラン滋賀の運営</li> <li>・効果的な入会促進方法に関する検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「びわ湖環境ビジネスメッセ」出展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境にやさしい買い物キャンペーン」への参加</li> <li>・びわ湖一周「買うならエコ!」リレーの実施</li> <li>・啓発資材の作成、貸出</li> <li>・地域事業等への協力、出前講座の実施</li> </ul>	
	(2)調査研究および情報提供事業	メルマガ・FAXリリース 月1回発行、ニュースレター 年2回発行、郵送による各種情報の発信		ホームページ 月1回程度更新、	・社会(行政、各種団体、経営層)への提案研究
	(3)連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体のGPアンケート調査 年1回実施</li> <li>・県内事業所のグリーン購入取組実態調査実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いちおしグリーン商品リスト」 年2回発行</li> <li>・会員アンケート 年1回実施(※現状把握方法の検討次第で、内容の変更あり)</li> </ul>		
	(4)県産品やサービスの普及支援事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員情報交換会 年1回開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「グリーン購入実践に関する従業員アンケート」への協力呼びかけ</li> </ul>	
	(5)会員相互の情報交換、活動支援事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員交流会 年1回開催</li> <li>・ワーキンググループ(研究会)支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三方よしエコフェア」 年1回実施に向けての検討</li> </ul>	
	(6)その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員証の発行(毎年度)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物ごみ減量推進フォーラムしが等、他団体との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動成果の確認と次期ビジョンの策定</li> <li>・活動評価の手法の検討</li> <li>・全国・他の地域GPNとの連携、全国事業参加</li> </ul>
3年後 (2016年度末)の成果目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数を500団体にする</li> <li>・グリーン購入キャンペーンに参加する会員を200団体に引き上げる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度に、現状把握の方法について検討し、結果をふまえて現状把握後に目標を設定する</li> <li>・会員の参加率向上に関する目標</li> <li>・会員の連携促進に関する目標</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度に、グリーン購入普及度の現状把握の方法について検討し、遅くとも第2年度中に、現状を把握して目標を設定する</li> <li>・「グリーン購入の普及度」に関する目標</li> </ul>	

(2014年3月14日 理事会承認)



## エコ情報室

### 「薪は地産地消の エネルギー源」

Maxwood 代表 回渕 享治 さん

ここ数年、スローライフへのあこがれ、またCO<sub>2</sub>削減、地域エネルギーの創出として薪ストーブへの関心が高まっています。メディアも薪ストーブを取り上げる機会が増え、冬には「薪ストーブ特集」まで組まれるほどです。

日本では鋳鉄や鋼板製の薪ストーブがほとんどですが、欧米では土、砂、レンガ、タイル、ソープストーン（天然石）など鉄以外の素材も多く使われ、また燃焼方式も多種多様です。

薪ストーブが年間100万台も販売されているアメリカやヨーロッパでは、厳しい排ガス規制まで設けられています。これらの薪ストーブの燃料はもちろん木材ですが、樹種によってその燃え方は大きく違います。

だるまストーブやかまど、薪風呂を使われたことのある方はご存知だと思いますが、薪を焚くうえで好まれるのは何と言つてもコナラ・カシなどの広葉樹です。火持ちが良く、熾きになっても火力が続くので薪をくべる回数が



少なくてすみます。

森林が県面積の半分を占める滋賀では、スギ・ヒノキ等の針葉樹が多く、その中でも未利用材を燃料として有効に活用することが重要です。ただ同じ太さの針葉樹と広葉樹の薪を比べた場合、前者は燃え尽きるのが早く、低温燃焼時には煤（スス）が多く発生するのが一番の欠点です。

そこで、2009年に、県内の中小企業家、大学研究室等で「薪のある暮らし方研究会」を立ち上げ、針葉樹を主燃料として利用できる小型蓄熱式薪ストーブの研究開発を始めました。そして、2014年の春には小型蓄熱式薪ストーブ「Mark7（マークセブン）」の開発に成功し販売を始めました。素材はキャスタブル（不定形耐火物）で出来ており、今まで煙突から出していた煤までも高温の炉内で燃焼するため、とてもきれいな排気になります。今まで薪ストーブにはあまり向かないとされていた針葉樹も、これで安心して使用していくだけです。また、キャスタブルは比熱が高く一度温まると冷めにくい特性があり、陽だまりのようなあたたかさが長時間続きます。滋賀の窯業技術を取り入れ、滋賀で生産した日本初のオリジナル薪ストーブだと見えます。

雪が深々と降る日も、地元の薪で暖を取り、火を囲み、お母さんの温ったか手料理でおなかも満たされる。薪ストーブのある暮らしが身近なものになることを願っています。

**ご好評を賜り今年も開催させて頂きます!**

**売り手よし 買い手よし 世間(環境)よし 三方よしエコフェア**

地元産や旬のもの、今まで知らなかったエコグッズ、ステキなものにたくさん出会えるグリーン購入の体験イベント

- 開催日時：12月14日(日) 10時～15時
- 開催場所：ピアザ淡海 3階 大会議室他  
(大津市におの浜1-1-20)
- 内 容：滋賀県産の米や野菜、日曜雑貨品から省エネ機器や省エネ住宅まで、エコで「心地よい暮らし」をご提案する様々な商品を展示し即売します。

三方よしエコフェアの、「森と暮らしの部屋（仮称）」ブースにて  
薪ストーブやペレットストーブを展示します。  
薪やじわ湖につながる  
森やじわ湖について学べる場です。  
エコな暮らしについて学べる場です。  
是非ご来場ください!!

*Relay Talk* 滋賀GPN会員でつなぐ  
**リレートーク>>** 近江鉄道株式会社  
代表取締役社長 中村 隆司

近江鉄道株式会社は、1896年に創設されて以降、グループ会社を含め、鉄道・バス・タクシー・船舶・索道などの総合交通と、サービスエリアなどの観光レジャー施設、その他旅行斡旋・自動車教習業など、滋賀県を中心に、積極的に営業を展開しております。当グループは、西武グループの構成企業であり、そのグループビジョンのスローガンである「でかける人を、ほほえむ人へ。」を実現すべく、「安全・安心」と「お客さま目線に立って」を基本に、快適なサービスをご提供できるよう、社員一同、日々努めております。

また、当社では、環境の保全ならびに地域社会への貢献にも力を入れております。環境にもやさしく、クリーンなエネルギーが地域の皆さんに有効に活用いただけるよう、本年3月に、太陽光発電設備「SOLAR ECO-VILLAGE あどがわ」（高島市）を開設いたしました。県内の電力需要に対応するとともに、発電した電力は電気事業者に全て売電しております。その他にもノンステップバスの運行や環境定期券の発売、鉄道の駅施設を一般開放するなど、ひきつづき、地域の交流と発展に積極的に取り組んでまいります。また、グループ会社の湖国バス株式会社では、「エコ交通」の促進を図るべく、廃食油を使用したバイオディーゼル燃料による路線バスの運行を行っております。近江タクシー株式会社においては、お身体の不自由な方にご利用いただけるよう、ホームヘルパー2級の資格を持ったドライバーによる介護タクシーの運行やユニバーサルデザインタクシーの導入、環境配慮型次世代タクシーであるプリウスPHV（プラグインハイブリッド）車両の導入など幅広いサービスを提供しております。

次回は大津市さんにお願いします。

## 新規会員からひとこと

2014年3月1日から2014年7月25日までの入会者（団体名の50音順）

### 株エファイ

代表取締役 北野 裕子

「三方よし」の概念をもとに各種研修や、デザイン・印刷物の作成を行っています。より環境に優しいモノ（思考・物）創りを目指します。

### （公財）淡海文化振興財団 淡海ネットワークセンター

遠藤 恵子

地域や社会の課題解決に自主的に取り組むNPOや市民活動をサポートしています。新たなネットワークで地域づくりが広がることを期待しています。

### 環人8プラス

代表理事 浦 幹夫

県立大「近江環人地域再生学座」8期生を中心に活動しています。グリーン購入が地域に広がるようお手伝いしていきます。

### （公財）滋賀県緑化推進会

事務局長 押谷 正

県民の皆さんから寄せていただく「緑の募金」によって、湖国の豊かな森を育て、緑あふれるやすらぎのあるふるさとづくりを目指しています。今後とも「緑の募金」にご協力をお願いします。

### 株ダイマル

代表取締役 戎脇 浩

グリーン購入について勉強しながら会員の皆さんとも交流できることを楽しみにしております。簡易包装の取組にも力を入れています。

### （株）ベストハウス

吉本 智

私たちベストハウスは、住まいづくりに携わった全員が幸福になり、滋賀の持続可能な暮らしづくりを応援していきたいと考えています。

### 近江鉄道株式会社

滋賀県彦根市古沢町181番地  
TEL:0749-22-3301  
<http://www.ohmitetudo.co.jp/>

### エクセルント・ショップ草津（奥村信板内）

代表 奥村 信之

家の屋根・外壁・雨樋工事を手掛けております。使う建材は断熱性や耐候性に優れた製品で、室内の温度を下げ省エネを実現しています。

### 関西エムアイ（株）

取締役 草木 幹雄

ボイラー・空調機器・産業機械の販売工事及びメンテナンスを行っております。環境を意識した事業活動を行っていきます。

### （株）シンコーメタリコン

代表取締役 立石 豊

私達はあらゆる製品に「溶射」という表面処理を行っています。日本を機械長寿の国にすべく日々切磋琢磨しています。

### （有）山本材木店

青木 みどり

湖南市で主に建築材料の販売をしています。又、CO<sub>2</sub>削減につながるecoな燃料バイオマスペレットの製造販売を計画中です。

現会員数：468 (2014年7月25日現在) [企業403、行政21、団体44]